

# 一般県道大槌小鎚線が開通！

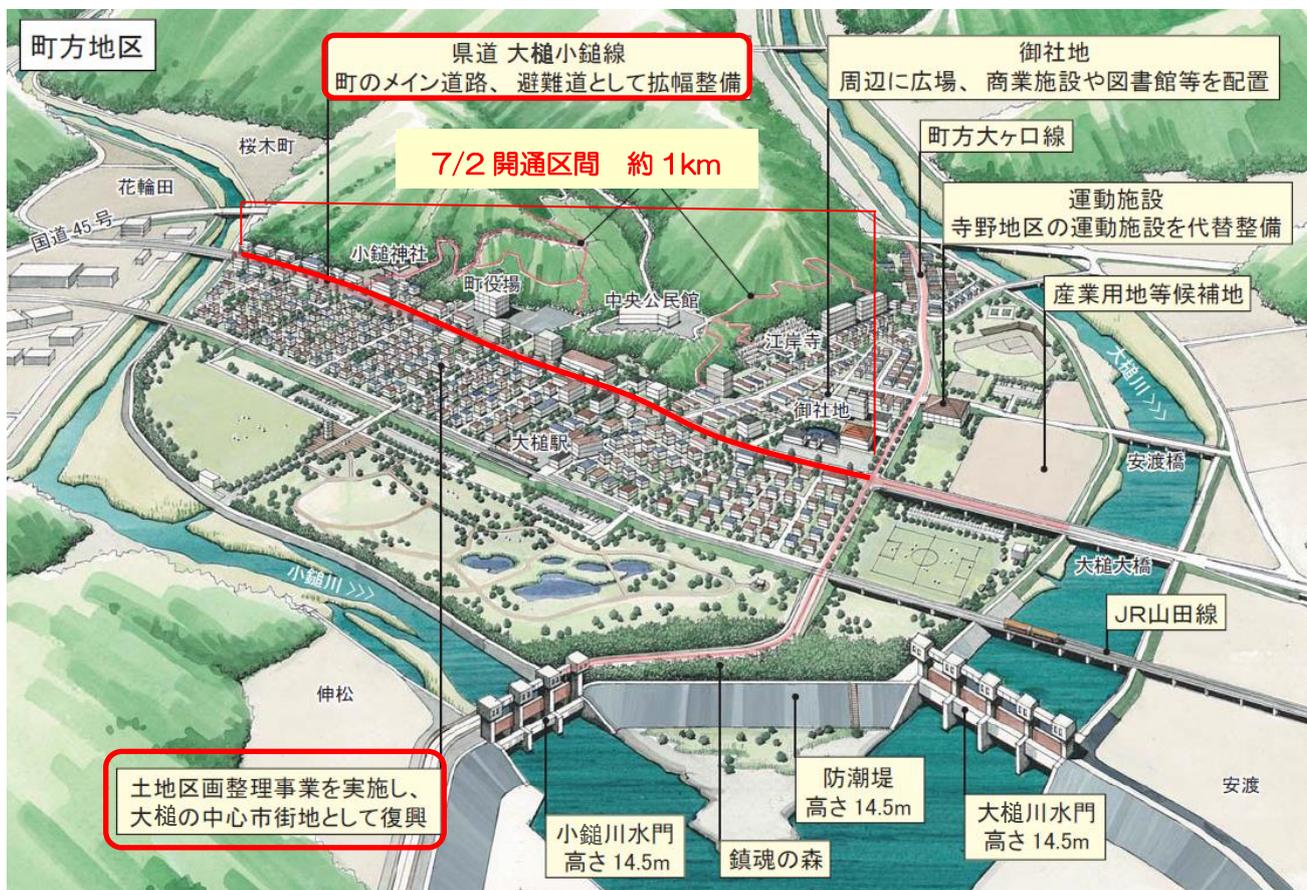
～まちのメインストリートが復活～

沿岸広域振興局土木部



東日本大震災津波で甚大な被害を受けた大槌町で、7月2日（土）、町の中心市街地となる町方地区の幹線道路、一般県道大槌小鎚線が開通し、記念式典が催されました。

開通したのは、震災復興土地区画整理事業によって平均2.2m嵩上げされた町方地区を通る約1kmの区間で、幅員は16m（歩道含む）の片側一車線道路です。



大槌町 町方地区復興まちづくりパース

大槌町の平野公三町長は「復興を加速し、新たな大槌町を築きあげていく上での大きな一歩となることを確信する。」とあいさつしました。式典には、国、県、町の関係者や沢山の町民の方々も参加し、テープカットとくす玉割り、パレード、特設ステージでの地元郷土芸能団体による演舞、餅まきで県道の開通を祝いました。



震災前と同じ場所に復活した県道の開通に、来場した町民の方からは「5年ぶりに歩いたね」という声も聞かれました。今後は、開通した県道北側で、区画の引き渡しや災害公営住宅の整備が8月以降に始まるほか、これまで迂回道路として使用されていた JR 山田線線路敷では、鉄道復旧に向けた盛土工事が始まる見通しです。